

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
 コード番号 5070 URL https://draft.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 泰樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 荒浪 昌彦 TEL 03-5412-1001
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,551	—	458	—	460	—	282	—
2020年12月期第2四半期	2,702	—	207	—	184	—	121	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 285百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 121百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	30.59	30.46
2020年12月期第2四半期	13.51	13.06

- (注) 1. 当社は、前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、第2四半期（2021年1月1日から2021年6月30日）と、比較対象となる前第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日）の期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2020年12月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,666	2,196	47.0
2020年12月期	3,690	1,947	52.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,195百万円 2020年12月期 1,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	—	700	—	680	—	440	—	47.56

- (注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2020年12月期は決算期変更により9ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社 （社名）—、除外 一社 （社名）—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	9,251,800株	2020年12月期	9,251,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	—株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	9,251,137株	2020年12月期2Q	8,958,262株

(注) 当社は、2020年12月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下、「コロナ禍」）から徐々に持ち直しつつも、緊急事態宣言が2度発出される等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、デザイン力・企画提案力を強みとして先進的な空間を創造してきた当社グループは、変化する社会ニーズを的確に捉えて事業を推進してまいりました。当社グループが提案する次世代のライフスタイル、ワークスタイルに合致した空間デザインは、コロナ禍がもたらした生活様式の変化により一層ニーズを高めており、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,551,117千円となりました。

当社グループは、前連結会計年度が2020年4月～12月の変則決算であったため、前連結会計年度の業績との正確な比較ができません。参考までに売上高を前年同期間（2020年1月～6月）と比較しますと1.8%減、前第2四半期（2020年4月～9月）との単純な比較では31.4%増となり、5月12日に開示した上方修正後の売上高予想

（3,550,000千円）に対しては、想定どおりの着地となりました。前年同期間に比べて売上高が微減となった原因は、コロナ禍による売上高季節変動の変化が主な要因であると考えております。当社グループの売上高は、これまで、7月～9月及び1月～3月に高くなる傾向がありました。特に2020年1月～3月は本格的なコロナ禍の直前にあたり、過去最高の四半期売上高となっております。これは、4月を起点とする日本の社会サイクルが影響しており、新しい期を迎えるにあたってオフィスを整備したい等のニーズが高かったものと考えております。リモートワークの進展等でオフィスの在り方をはじめ生活様式に変化が起り、コロナ禍が本格化して以降、時期による売上高の偏りが弱まる傾向がみられます。

季節変動の変化を考慮した指標として、月平均売上高をみますと、当第2四半期連結累計期間の月平均売上高は591,852千円となり、2020年12月期（2020年4月～12月）の月平均売上高479,329千円から23.5%増加いたしました。

利益面では、利益率の高い企画・デザイン・設計業務において高収益の大型案件を計上したこと等により、売上総利益が計画を上回ったことに加え、コロナ禍によるブランディング施策（広告宣伝費）の第3四半期以降への先送り、旅費交通費等活動費の低下により、販売費及び一般管理費が計画を下回りました。この結果、営業利益は458,648千円（前年同期間比31.9%増）、経常利益は460,317千円（同53.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は282,986千円（同58.0%増）となりました。

なお、当社グループは、企画・デザイン・設計・デザインビルド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,666,904千円となり、前連結会計年度末と比較して976,321千円増加いたしました。これは、主に売掛金が635,544千円増加したこと及び株式会社サティスワンを吸収合併したことに伴うのれん306,976千円が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,470,119千円となり、前連結会計年度末と比較して726,621千円増加いたしました。これは、主に買掛金が147,177千円増加したこと、未払法人税等が168,499千円増加したこと及び短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,196,784千円となり、前連結会計年度末と比較して249,699千円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益282,986千円を計上したこと及び配当金の支払い37,004千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて4,775千円増加し、1,198,206千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は202,687千円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益460,538千円、仕入債務の増加額145,069千円及び前受金の増加額86,783千円から売上債権の増加額629,958千円を差し引いたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は438,636千円となりました。これは、主に株式会社サティスワンを吸収合併したことに伴う支出391,510千円及び有形固定資産取得による支出26,532千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は240,509千円となりました。これは、主に短期借入れによる収入が450,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出172,512千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月12日に発表いたしました「業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,232,234	1,237,010
売掛金	1,117,139	1,752,683
商品	33,289	22,143
仕掛品	178,013	117,293
その他	56,668	100,944
貸倒引当金	△5,400	△4,500
流動資産合計	2,611,945	3,225,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	349,402	383,111
減価償却累計額	△108,441	△130,237
建物及び構築物(純額)	240,961	252,874
土地	577,683	577,683
その他	106,704	132,462
減価償却累計額	△59,739	△73,977
その他(純額)	46,965	58,484
有形固定資産合計	865,609	889,042
無形固定資産		
のれん	—	306,976
ソフトウェア	19,835	16,782
無形固定資産合計	19,835	323,758
投資その他の資産		
敷金及び保証金	114,896	132,987
繰延税金資産	36,572	49,132
その他	41,723	46,408
投資その他の資産合計	193,192	228,527
固定資産合計	1,078,637	1,441,329
資産合計	3,690,582	4,666,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	567,483	714,661
短期借入金	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	282,244	203,475
前受金	11,181	97,965
未払法人税等	18,985	187,484
賞与引当金	34,863	38,804
完成工事補償引当金	8,000	8,000
その他	119,597	161,129
流動負債合計	1,042,355	1,861,520
固定負債		
長期借入金	696,902	603,159
その他	4,240	5,440
固定負債合計	701,142	608,599
負債合計	1,743,497	2,470,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	548,272	548,284
資本剰余金	528,272	528,284
利益剰余金	865,245	1,111,228
株主資本合計	1,941,789	2,187,798
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,295	7,629
その他の包括利益累計額合計	5,295	7,629
新株予約権	—	1,357
純資産合計	1,947,085	2,196,784
負債純資産合計	3,690,582	4,666,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,702,939	3,551,117
売上原価	1,974,172	2,457,808
売上総利益	728,766	1,093,309
販売費及び一般管理費	521,686	634,660
営業利益	207,079	458,648
営業外収益		
受取利息	16	10
受取手数料	50	7,632
保険解約返戻金	872	376
その他	40	194
営業外収益合計	978	8,213
営業外費用		
支払利息	4,873	5,872
支払手数料	18,000	—
その他	229	672
営業外費用合計	23,102	6,544
経常利益	184,955	460,317
特別利益		
国庫補助金受贈益	—	1,996
特別利益合計	—	1,996
特別損失		
固定資産圧縮損	—	1,776
特別損失合計	—	1,776
税金等調整前四半期純利益	184,955	460,538
法人税、住民税及び事業税	57,237	173,713
法人税等調整額	6,711	3,838
法人税等合計	63,949	177,551
四半期純利益	121,006	282,986
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,006	282,986

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	121,006	282,986
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	493	2,334
その他の包括利益合計	493	2,334
四半期包括利益	121,500	285,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,500	285,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	184,955	460,538
減価償却費	26,069	35,854
のれん償却額	—	16,156
株式報酬費用	—	1,357
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,500	△900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,534	3,940
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	—
受取利息	△16	△10
支払利息	4,873	5,872
支払手数料	18,000	—
国庫補助金受贈益	—	△1,996
固定資産圧縮損	—	1,776
売上債権の増減額 (△は増加)	1,005,087	△629,958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,296	69,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	△831,952	145,069
前受金の増減額 (△は減少)	49,734	86,783
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△53,219	57,031
その他	△64,934	△39,341
小計	294,334	211,326
利息の受取額	16	10
利息の支払額	△4,873	△6,085
国庫補助金の受取額	—	1,996
法人税等の支払額	△130,999	△4,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,478	202,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	15,015	—
有形固定資産の取得による支出	△690,445	△26,532
無形固定資産の取得による支出	△2,577	△2,706
差入保証金の差入による支出	—	△13,249
合併による支出	—	△391,510
その他	△4,952	△4,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682,959	△438,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450,002	450,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△204,568	△172,512
支払手数料の支払額	△18,000	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,897	25
配当金の支払額	△35,760	△37,004
その他	△6,451	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,884	240,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	172	214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△631,192	4,775
現金及び現金同等物の期首残高	1,862,012	1,193,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,230,820	1,198,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、企画・デザイン・設計・デザインビルド事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(株式取得による子会社化及び吸収合併)

当社は、2021年4月1日に株式会社サティスワンの全株式を取得して子会社化し、同日を効力発生日として同社を吸収合併いたしました。

1. 株式取得及び合併の目的

当社グループは、「ALL HAPPY BY DESIGN」を理念に掲げ、デザインによって社会の課題を解決することを目指し、インテリアデザインや建築デザインを中心に積極的な業容の拡大及び企業価値向上に取り組んでまいりました。現在は、大型複合施設の環境設計や都市開発プロジェクトへの参画を通じて、デザインの領域及び規模を急速に拡大しております。

株式会社サティスワンは1999年の設立以来、戦略的なPR及びブランディングに特化した事業を展開し、大手デベロッパー企業及び大手日用品メーカーのブランディング、商業施設のプロモーション、海外ラグジュアリーブランドのキャンペーンなど幅広いサービスを提供しております。

当社グループが得意とする高度なデザインワークに加えて、株式会社サティスワンが有するマーケティングの専門知識や豊富なブランディング実績を活用することで、事業ポートフォリオの拡充、顧客体験の向上及び総合的なクリエイティブサービスの提供体制をより強固なものにしたいと考えます。

2. 株式取得の要旨

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社サティスワン
事業の内容：ブランディング、プロモーション及びデザイン支援

(2) 企業結合日

2021年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) 取得する議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(7) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、相手先との契約上の関係で開示を差し控えさせていただきますが、第三者機関の株式価値算定をもとに、双方協議のうえで決定しております。

(8) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーフィー 3,800千円

(9) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 323,133千円
発生原因 今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものです。
償却方法及び償却期間 5年間にわたる均等償却

(10) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 32,084千円
固定資産 54,337
資産合計 86,421
流動負債 9,158
負債合計 9,158

3. 吸収合併の要旨

(1) 吸収合併の日程

合併に係る取締役会決議日 2021年2月15日

合併契約締結日 2021年2月15日

合併期日(効力発生日) 2021年4月1日

※本合併は、存続会社である当社においては会社法第796条第2項に定める簡易吸収合併に該当するため、また、消滅会社である株式会社サティスワンにおいては会社法第784条第1項に定める略式吸収合併に該当するため、いずれも株主総会による吸収合併契約の承認を得ずに行いました。

(2) 吸収合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社サティスワンは合併により解散いたしました。

(3) 吸収合併に係る割当ての内容

効力発生日である2021年4月1日時点においては、株式会社サティスワンは当社の100%子会社であるため、本合併による株式その他金銭等の割当ては行っておりません。

(4) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。